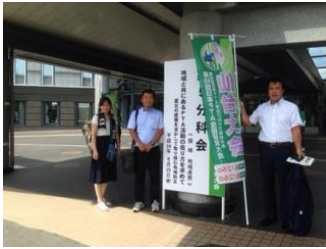


◆ 第5分科会 【地域連携】

(報告者:青木 明子)

会場 仙台国際センター会議棟 大ホール
研究課題 地域と共にある PTA 活動の在り方を求めて



会場入り口にて



分科会開始前

● 基調講演者 麻生川 敦 氏

元 南三陸町立戸倉小学校 校長

富谷市立東向陽台小学校 校長

演 題 あの日学校であったこと

～ 人のつながりと防災を考える ～

● 実践発表者 高山 亜矢 氏 元 仙台市立荒浜小学校父母教師会会長

亀崎 英治 氏 仙台市立七郷小学校研究主任

● コーディネーター 佐藤 健 氏 国立大学法人 東北大学災害科学国際研究所教授

● パネリスト 亀崎 英治 氏 実践発表者

小岩 孝子 氏 NPO 法人 にこにこの家代表理事

細谷 滋紀 氏 前 仙台市若葉区 PTA 連合会会長

及川 由佳里 氏 仙台市危機管理室減災推進課 主査

第5分科会は、南の星吹奏楽団の力強い壮大なイメージの演奏でのオープニングで始まり、基調講演では、2011. 3. 11に発生した東日本大震災により壊滅的な被害からの現状と課題について経験からの教訓を活かした児童育成と家庭・学校・地域協働による防災・減災の取り組みと実践について考える内容でした。今後、地域での防災を考える上で、何より知っているだけでは役には立たない。ということを再認識し、素早く行動に移すことが大切なことであり、また、PTAと地域との連携の大切さを学び知る大変貴重な講演でした。

また、実践発表とパネルディスカッションに於いても、家庭と地域と学校が連携することが重要であり、その中でも日頃から「顔の見える関係」を作り上げるには、その関係づくりそのものは、とても時間が掛かるけれど大切な第一歩になることを学べる内容でした。

PTA 活動を行う上で、日常的な地域ぐるみの協働は、防災力の向上だけでなく、今後の PTA 活動そのものの持続可能性と、次の世代を担う人材育成の波及効果をも生むという皆さんの発信内容を通して多くの学びを持ち帰ることができる第5分科会の地域連携の情報発信でした。